

平成25年10月25日
社会資本老朽化対策推進室

老朽化対策に資する点検・診断技術の公募の技術選定結果について ～コンクリートのひび割れについて遠方から検出が可能な技術～

標記、「コンクリートのひび割れについて遠方から検出が可能な技術」について、平成25年7月31日～平成25年8月30日の期間に公募を実施したところです。

応募された技術について「コンクリートの既存ひび割れについて遠方から検出可能」であることについて、社会資本老朽化対策推進室において審査を行った結果、別添の通り32件の試行対象とする技術が選定されましたのでお知らせします。（技術名称、応募者：別紙1）

今後、選定された技術については、国が所有する現場において試行されることとなります。

また、試行結果については、中部地方整備局新技術活用評価会議において審査し、審査結果については、別途、設置するNETIS点検・診断サイト（仮称）にて公表する予定です。

記

1. 試行対象とする技術

- ・カメラを活用した技術（24技術）
- ・レーザーを活用した技術（4技術）
- ・ロボットを活用した技術（4技術）

2. 試行期間 平成25年11月から平成25年12月（予定）

なお、現場条件などにより試行期間は変わる場合があります。

3. 試行結果公表時期

平成26年1月以降。

なお、試行時期により公表時期は変わる場合があります。

<問合せ先>

国土交通省社会資本老朽化対策推進室 担当：大臣官房技術調査課 林（内線：22343）

TEL：03-5253-8111（代表） 夜間直通：03-5253-8125 FAX：03-5253-1536

担当：大臣官房公共事業調査室 吉井（内線：24296）

TEL：03-5253-8111（代表） 夜間直通：03-5253-8258 FAX：03-5253-1560